



報道関係者各位

2013年10月11日

**環境教育の一環として金ヶ崎町の荒巻子ども会が廃品回収活動
初めての試みとして全国的にも例がない「古着の回収」を実施**

岩手県金ヶ崎町 荒巻子ども会
株式会社ドンドンアップ

岩手県金ヶ崎町の「荒巻子ども会」では、来る10月26日（土）、環境教育の一環として廃品回収を行います。今回初めての試みとして繊維資源である「古着の回収」を併せて実施することになりました。子ども会による古着の回収は全国的にも例がなく珍しい試みと言えます。

■概要

荒巻子ども会ではこれまで、年に2～3回定期的に地域の廃品回収を行ってきました。子どもたちの社会に奉仕する心と物を大切にすることを養うとともに、年々増加するごみを減量化するために行われてきた廃品回収ですが、回収の対象となるのは主に新聞紙や段ボール紙などの紙資源、瓶、タイヤなどが一般的でした。この度、金ヶ崎町からの提案を受け、再生可能な資源である古着の回収も始めることとなりました。

荒巻子ども会は主に金ヶ崎町立金ヶ崎小学校の児童で構成されており、当日は小学1年生～6年生の児童たちが保護者の方々と共に廃品回収を行います。古着の回収グループと瓶や古紙の回収グループに分かれ、古着グループはドライブイン民宿鈴食堂（岩手県胆沢郡金ヶ崎町三ヶ尻勘九郎東4-2）から回収を開始し、周辺を回りながら荒巻会館をめざします。

各グループで回収された廃品は荒巻会館に集められ、古着は株式会社ドンドンアップが後日回収し、海外でリサイクルします。その他の廃品に関しては金ヶ崎町が回収します。

■古着の現状

現在日本では、使用された衣料は衣類国内供給量とほぼ同数にあたる94.2万トンがゴミとして回収されています。そのうちの73.7%はそのまま廃棄処分されているのが現状で、リユース・リサイクルされているのは26.2%です。この古着のリユース率について、環境先進国と言われるドイツでは50%、アメリカでは25%程度であるのに対し、日本では10%程度と言われております。（独立行政法人中小企業整備機構「繊維製品3R関連調査事業報

告書」(平成 22 年 2 月) から)

■古着の行方

ドンドンアップでは店頭での古着の買取りの他に、行政と協力した市町村での回収も行っており、2012 年度の古着回収量は 6,100 トンにも及びました。店頭で買い取った古着のうち販売できない状態の商品や売れ残った商品、行政回収したものは、廃棄することなく、マレーシアの提携業者に輸出しています。そしてその提携業者は、古着を仕分けて、さらに東南アジアやアフリカなど 20 カ国以上に輸出しています。

日本の古着は、着古した欧米品などよりも高品質で、デザイン性も高いため、現地ではとても人気があります。また、損傷が激しいものでも「ウェス」や「反毛材」として再利用されるため、廃棄するものはほぼありません。

■詳細

日時：10 月 26 日 (土) 8 : 00 ~ 11 : 00

回収場所：荒巻会館

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根南荒巻 28-134

回収エリア：金ヶ崎町荒巻地区 (国道 4 号線周辺)

※雨が降った場合には翌日に延期 (小雨決行)

つきましては、この「子ども会による古着回収」を貴紙読者及び貴局視聴者にご紹介いただきたく、またご取材賜りたく、ご検討の程よろしくお願ひ申し上げます。

<この件に関するお問い合わせ先> _____

株式会社ドンドンアップ 盛岡本社 広報課 工藤知世

〒020-0024 岩手県盛岡市菜園 1 丁目 3-6 農林会館 2F

[TEL : 019-621-8250](tel:019-621-8250) FAX : 019-621-8230 Email : kudou.tomoyo@dondonup.jp

株式会社ドンドンアップ 東京支社 広報課 菊地岳彦

〒107-0061 東京都港区北青山 2-7-26 フジビル 28 2F

TEL : 03-6864-4847 FAX : 03-6856-4180 Email : kikuchi.takehiko@dondonup.jp